

## 第8回遠野市史編さん委員会 会議録

日 時	平成30年11月6日（火）13：30～15：00	
場 所	あえりあ遠野 やまぼうし	
出席委員数	10人中8人出席	
出席委員	委員長	大橋 進
	委員	熊谷 常正
	委員	今野 日出晴
	委員	斉藤 利男
	委員	菅原 伴耕
	委員	藤田 俊雄
	委員	松本 武則
	委員	山影 勝美
欠席委員	委員	赤坂 憲雄
	委員	兼平 賢治
川口印刷工業	真柄 隆男	県南営業所所長
	阿部 哲也	企画編集課課長
事務局	小向 浩人	市民センター所長
	前川 さおり	市史編さん室次長
	糠森 千明	市史編さん室主任
	小島 芳枝	〃
	熊谷 航	〃
	菅原 聡	〃

（進行：前川次長）

### 1 開会

### 2 委員長挨拶

### 3 報告（平成30年度経過と事業の進捗状況）

報告内容について質疑なし。

### 4 協議

#### （1）部会の設置について

（糠森主任 資料にもとづき説明）

- ・ 部会員は市外の研究者を頼んでもよいか。

⇒ 遠野や岩手県周辺の歴史、風土に知見のあることを踏まえ、できれば東北管内の方で人選いただきたい。

#### （2）通史編基本構想案の変更について

（糠森主任 資料にもとづき説明） 質疑なし

### (3) 資料編基本構想案について

(糠森主任 資料にもとづき説明)

- ・ 分量の多い資料や地図、調査報告など資料編の体裁に収まりきらないものは、DVD、別冊、叢書のような形を臨機応変に検討してほしい。
- ⇒ 今後検討する。

### (4) 刊行計画の変更について

(糠森主任 資料にもとづき説明)

- ・ 原稿の締切をいつにするか。
- ⇒ 校正に期間を要することから、刊行のおよそ1年前を原稿締切としたい。
- ・ 古代と中世、中世と近世といった時代の区切りをどこにするか協議が必要。
- ⇒ 各部会でも確認してからすり合わせる。

### (5) 現代編について

(糠森主任 資料にもとづき説明)

- ・ 課題に挙げられているとおり、行政だけではなく民間団体や市民の意見を取り入れること。
- ・ 章や節の導入部分で、しっかり時代背景と遠野市の状況を繋いで描くことが大事。
- ・ 執筆者が遠野の町をエクスカーションして、遠野の人にも触れて、雰囲気を感じ取るような場が必要では。
- ・ コラムなどで、暮らす人の顔が見えるような叙述を心掛けてほしい。
- ・ 記録やデータは残しておいて、将来的にはアーカイブスとして立ち上げるような形を検討してほしい。市職員の勉強会の資料としても活用できる。
- ・ まとめの部分の事業の表記方法や年号の書き方など、原稿では統一を。

## 6 閉会